

西条小学校学校支援地域本部【西条市】

～日本語能力が十分でない子どもたちへの学習支援を目指して～

◆活動の目的・理念

外国籍及び帰国子女等で日本語の指導が必要な児童・生徒に対し、日本の文化や学校生活に早くなじみ、自らが主体的に学校生活を送るために必要な教育及び支援を行うとともに、国際社会の一員としての自覚を持ち、文化や習慣の違いを正しく理解し、互いの人権を尊重して認め合って共に生きていく意識と態度を培う。

地域コーディネーター	配置		属性	活動内容			
	1	名	地域住民	・通級指導教室担当教員や原級担任との連絡調整及び支援の確認 ・学校支援ボランティアへの連絡と調整 ・広報・啓発活動(学校・市ホームページ、市報等の作成補助)			
学校支援活動	授業の補助	部活動補助	環境整備	安全指導・登下校	学校行事補助	その他	
のべ日数	220 日	190 日	日	日	20 日	10 日	日
ボランティアのべ人数	620 人	570 人	人	人	20 人	30 人	人
連携・協力団体・機関	さくら日本語の会、西条市国際交流協会、西条公民館						

取組の概要

<主な取組内容>

外国籍及び帰国子女等で日本語の指導が必要な児童・生徒に対する学習支援
 — 西条小学校を拠点とした「にほんご指導教室」の学習支援活動 —

- 対象者は、原級での学習活動への参加に必要な日本語能力の習得を最優先して指導を受ける。
- 対象者は、日本の学校文化に慣れ親しみ、国際社会の一員としての自覚を持ち、文化や習慣の違いを正しく理解し、互いの人権を尊重して認め合って共に生きていく意識と態度を培うため、原級での学習や活動を積極的に図り、支援員はこれらの交流活動を支援する。
- 支援員は、教員の教育活動を補助するとともに、研修活動を行い、必要に応じて対象者及び保護者等に対する通訳支援等を行うなど、対象者への教育活動を総合的に補助する。

<児童の感想>

・にほんごきょうしつは、たのしいです。ひきさんのしかたをにほんごでおはなしできるようになりました。
 ・日本語をおぼえて、友達がいっぱいできました。ほんとうにうれしかったです。
 ・日本語教室では、国語を勉強しています。だんだん漢字をおぼえられるようになってきました。いっぱい漢字をおぼえて、漢字をいっぱい使いたいです。



(学習指導支援の様子)



(対象者の国籍は多様化)

<特色ある取組>

- 全国的に増加している外国籍児童・生徒等への支援は喫緊の課題である。本事業により安定した学習支援活動を実現させる。
- 地域コーディネーターの支援により、原籍校や対象世帯のニーズに合った、きめ細やかな学習支援活動を行う。
- 支援員に対する研修も年間を通じて実施し、様々な知識・ノウハウの習得に努める。



(支援活動計画書等)



(有識者による研修活動の様子)

事業を実施して

【成果】

- 突然の来日にも安定した受け入れが可能となった。
- 当初は全く日本語を話せなかった児童らも、支援活動により、ほぼ支援が不要になるまで成長できた。
- 個々の学習進度に対応した学習支援が実現し、他の児童と遜色なく原級での学習活動ができる。

【課題】

- 支援員にもしっかりと知識等が求められる。年間を通じた研修により、組織の安定化を図りたい。
- 対象となる児童・生徒は増加傾向にあるが、保護者の就労事情により転出入の予測が困難である。関係企業とも連携を密にし、さらなる情報共有を図りたい。